

発明協会 特許マップソフトで
かんたん!
特許情報分析

テーマ：
 北京オリンピックでも注目
最新スポーツウエア素材

間もなく、8月8日から第29回オリンピック夏季大会が中国・北京を主な舞台として開催されます。

環境、衛生に加えて5月に発生した四川大地震など懸念されてきた問題はあるものの、ソウル以来20年ぶりにアジアで開催されるオリンピックということもあり、日本でも盛り上がることでしょう。

今オリンピックのスローガン「One World, One Dream(ひとつの世界、ひとつの夢)」に象徴されるように、オリンピックは国際的友好の場とされていますが、競技に関連したさまざまな分野では最新の技術が駆使されていることも注目すべき点となっています。

例えば、機能性を高めたシューズ等の用具、サプリメント等の飲食物品、トレーニング機器など、選手をサポートする企業の存在も選手の活躍にとって大きな影響を及ぼしています。

そこで今回は、軽さ、強さ、動きやすさ、吸湿性、抵抗の軽減など各種競技用の最新素材を取り上げ、関連技術の開発動向の概要をご紹介します。

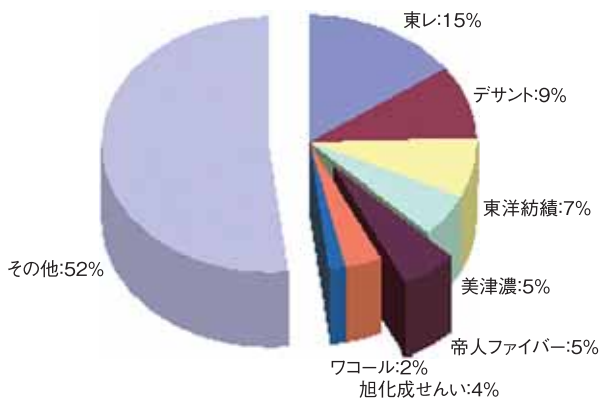
Point

- ✎ その他のスポーツ用保護衣類に含まれる主な機能としては、空気・水等の抵抗を減らすものや、吸湿(汗)性、速乾性、防臭・抗菌、耐磨耗性などが挙げられている。
- ✎ 出願人別シェア上位は、スポーツ用品メーカーと繊維素材メーカーに大別され、各社とも機能面で特徴を有する技術開発が進められている。
- ✎ とくに、オリンピックの各種競技に関連したユニフォーム等においては、ポリエステルとポリエチレンを組み合わせた2層構造の複合繊維で、薄さと質量の軽量を図り、通気性を高めながらウエア内をドライに保つ工夫や、耐磨耗性・切削性が強く、動作等の妨げにならないようさまざまな改良がなされている。野球の星野ジャパンやバレーボールの柳本ジャパンの活躍とともにこうした研究開発の成果も注目されるどころ。

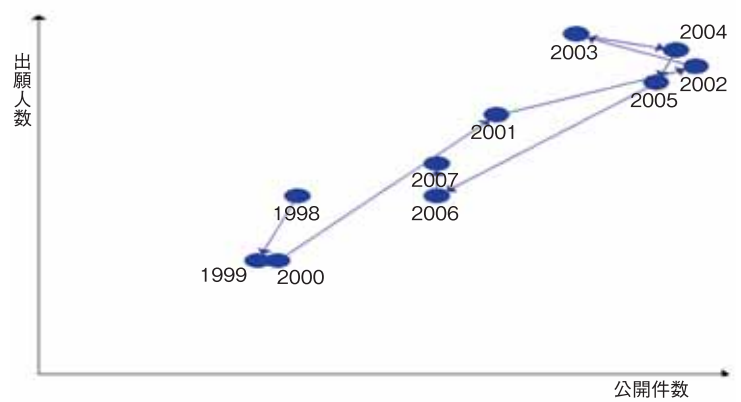
(1)技術分野別時系列公開件数推移

IPC分類の内容	公開年	IPC分類別公開件数										
		98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	合計
その他の職業用;工業用またはスポーツ用の保護衣類		3	6	4	5	11	9	7	10	0	0	55
伸縮性に特徴を有するもの		0	2	2	11	9	6	10	6	0	2	48
伸縮性を有するもの		0	3	1	10	8	8	9	5	0	1	45
職業用;工業用またはスポーツ用の保護衣類		0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	40
ポリエステル系繊維より成るもの		1	0	2	1	6	3	6	12	0	2	33
その他の下着用で材料に特徴のあるもの		0	1	0	2	5	3	12	7	0	0	30
防寒性または保湿性に特徴を有するもの		2	0	0	2	5	7	8	5	0	0	29
その他の外着用で材料に特徴のあるもの		0	1	1	3	14	4	3	2	0	0	28
保湿性を有するか加温を行うもの		4	0	0	2	2	8	7	4	0	0	27
通気性を有するもの		0	2	0	0	6	6	5	7	0	1	27

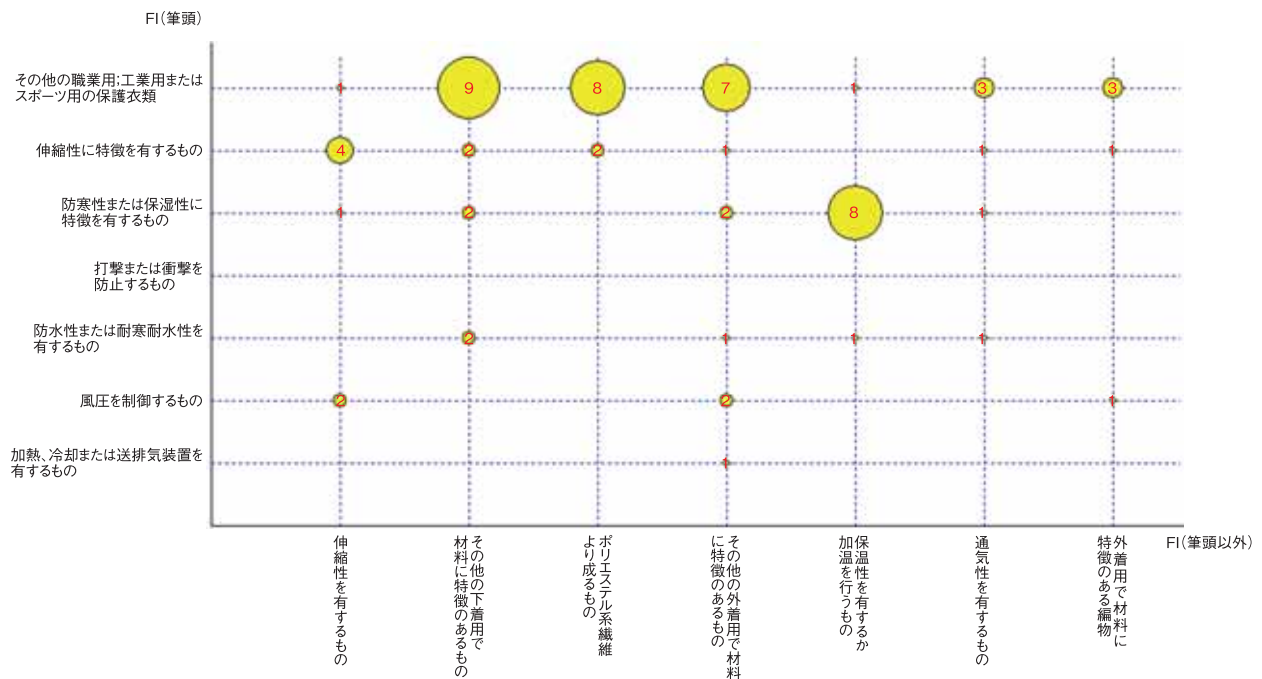
(2) 出願人別占有率



(3) ポートフォリオ(出願人数 — 出願件数)分析



(4) 技術相関分析



Point

- ✎ オリンピック選手等のトップアスリート向けに開発された技術をもとに、一般消費者への高機能繊維製品を販売することで、市場における競争力を高めることも期待される。
- ✎ 技術のライフサイクルを表す技術ポートフォリオ(出願人数—出願件数)分析によると、成長期を経て2001年に発展期、2002～2005年に成熟期を迎えたことが分かる。今後もオリンピックや各競技の国際大会での記録更新やさらなる活躍のために関連メーカーにおける研究開発は継続されるものであり、新たなブレイクスルーを経て成長期→成熟期に転じることが予想される。

本稿掲載の Patent マップは、「発明協会 特許マップソフト」で作成しました。膨大かつ難解な特許情報を効率的に整理し、可視化した「特許マップ」を活用することは、今や企業戦略には欠かせないプロセスとなっています。

「発明協会 特許マップソフト」は、現状把握からその課題を繰り返し検証し、対処方法を立案することができるため、「最適な将来ビジョン」の設計に有効なツールとして、多くのユーザーから高い評価を得ています。

簡易な操作性により、短時間で多様な観点から特許マップが作成可能な本ソフトが、このたび、(1)技術分類等の条件指定にフィルタリング機能を追加、(2)発明者(出願人)、技術分類等で「筆頭以外」の指定条件を追加し、より多様な分析が可能になりました。さらには、CD-ROM 公報(SGML) 図面の自動取り込みの機能も加え、バージョンアップしました。詳細は、発明協会ホームページ(<http://www.jiii.or.jp/mst/mapsoft.htm>)を参照されるか、下記へお問い合わせください。本稿へのご意見・ご感想もお待ちしております。